



NEWSLETTER FOR THE JAPANESE  
ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH  
(JADR)

## 国際歯科研究日本学会(仮称) 会 報

1981— I

6 月

### I 第 59 回 IADR 大会 (シカゴ)

1. 同学会は 3 月 19 日から 22 日までシカゴのマリオットホテルで開催された。それに先立つ 17 日には理事会が行われ、日本より森政和会長、河村洋二郎理事、須賀昭一事務局長が出席した。
2. 同理事会で協議された事項については IADR Report (Vol. 3, No. 1, 本年 5 月発行) の p. 5 をご覧いただきたい。
3. 日本部会名の改称の件

International Association for Dental Research, Japanese Division を Japanese Association for Dental Research に改称する件はすでに昨年の日本部会総会で承認を得ていたが (部会報, 1980-III 参照), 本部理事会の席上でも報告, 承認を得た。このことについてはすでに本部より各会員に送られている IADR Report (Vol. 3, No. 1, 本年 5 月発行) の p. 3 に記載されている。

### 4. 同学会における日本人の出題状況

日本人の出題状況を 1979 年 (ニューオーリンズ) におけるものと、本年のそれとを比較したものが次頁の表である。

	1979年(ニューオーリンズ)	1981年(シカゴ)
A. 日本よりの出題	12	25
口頭発表	5	11
ポスター	7	14
B. 在米日本人*	14	18
口頭発表	8	11
ポスター	6	7

\* 主演者のもののみ

日本からの出題が一昨年の上2倍以上になったことは注目すべきで、これは昨年の大阪大会での経験が多くの人々に国外での発表意欲をかき立てたことの現われと考えられる。特に、ポスターセッションでの日本人研究者と外国人研究者の交流には目ざましいものがあった。

## II JADR 1981年第1回理事会

4月17日 午後2時

大阪歯科大学・2階会議室

出席者：森会長、三浦副会長、田熊前会長、須賀事務局長、河村、常光、小西各理事

### 1. IADRシカゴ大会理事会報告

(須賀事務局長、河村理事)

### 2. Japanese Association for Dental Researchの略称はJADRとする。

なお、日本語呼称は仮に国際歯科研究日本学会とするが、今後、更に検討の上12月の総会までに決定の上、報告する。

### 3. 名称改正に伴う定款と会則の改正案は本年第2回以降の理事会において慎重に検討され、本年12月の第29回JADR総会(大阪)において報告される。

## III 第29回JADR総会(大阪)

大阪歯科大学・小西浩二教授(Executive secretary)のもとで準備中

日時：12月3日(木)と4日(金)

場所：大阪科学技術センター

#### Ⅳ 1982年の第60回 IADR 大会 (ニューオーリンズ)

1. 出題案内はすでに本部から各会員にとどいている。出題〆切りは10月12日。

会員外でも出題可能、希望の方は出題用紙を会員で出題を予定しておられない方からもらって頂きたい。なお、事務局にも5部ほど余分があります。

2. IADRニューオーリンズ大会に出席をすでに決めておられる方がおられたら至急JADR事務局までお知らせ頂きたい。

同学会で行われるシンポジウムにはアメリカ国外からの演者を含めることを原則としているとのことで、プログラム作りにあたって上記の資料が必要であるとJADR事務局に連絡があった。

---

Japanese Association for Dental Research (JADR)

(仮称：国際歯科研究日本学会)事務局

〒102 東京都千代田区富士見1-9-20  
日本歯科大学歯学部病理学教室内  
電話 (03) 261-8311 内線 291, 292